

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

試読・購読はこちらから



12月7日号（291号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

## 核兵器廃絶を目指す科学者 鈴木達治郎さんに聞く

7日(日)=1、3面



核兵器廃絶を目指す科学者たちの団体で、日本人で初めて同会議の役員になつた鈴木達治郎さん（写真）も参加していまし。そこで「憲法9条の精神を世界に広めるときです」とスピーチしました。鈴木さんは原子力工学が専門で、原発や核について熟知しています。核燃サイクルの推進に肯定的な時期もありましたが、米国での留学などを経て次第に疑問を持つようになります。そして「原子力ムラ」に身を置きながら、核燃サイクルに異議をとなえるようになります。

2009年の民主党政権誕生以降、国の原子力委員を務めますが、11年3月の福島第1原発事故により、自身の責任を痛感し、「脱原発」へと舵を切りました。1人の科学者の葛藤と、核廃絶への信念に迫ります。

迫る  
国際組織「パグウォッシュ  
会議」の世界  
大会が広島で開かれました。

先月初旬、  
国際組織「パ  
グウォッシュ  
会議」の世界  
大会が広島で  
開かれました。



7日(日)=総合面

## 「サイバー攻撃」の脅威

し  
ます。  
式で解説  
され  
るべきな  
のでしょ  
うか。被  
害の状況  
や背景を  
Q&A形  
式で解説  
します。



あらゆるもののがインターネットにつながる時代。業種や規模にかかわらず、企業や団体は攻撃のリスクにさらされています。ひとたび被害に遭えば影響は長期化する傾向にあり、多額の損失が生じることも珍しくありません。目に見え



企業を狙つた  
サイバー攻撃が  
猛威を振るつて  
います。デジタ  
ル化の進展で、

ブラジル・アマゾン河口  
都市ベレンで11月に開か  
れた国連気候変動枠組み条  
約第30回締約国会議（COP  
30）は、焦点となつた「脱  
化石燃料ロードマップ」の  
策定に合意できず、成果の  
乏しい会合となりました。

一方で、「グローバルサウ  
ス」と呼ばれる新興・途上  
国が熱帯林保全に役立てる  
導するなど存在感を發揮。  
交渉の地で、3人の専門家  
は新たな潮流をどう見つめ  
たのでしょうか。

論点

## COP30にみる 気候変動対策の新潮流

10日(水)=総合面

## 特集ワイド

### 「見えない」病、どう闘う 東えりかさんに聞く

8日(月)=夕刊2面

「もつとできることが  
あつたはず」。夫をみと  
つた後自身への怒りと  
後悔を感じたという東さ  
ん。インタビューでその  
思いに迫ります。



書評家の東えりかさん（写真）は2年前、夫保雄さんを原発不明がんで亡くしました。検査をしても病名が分からぬ。どこに相談したら良いのかも分からぬ。つらく悲しい日々をつづった著書「見えない死神 原発記録」が反響を呼んでいます。